

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立羽島特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月30日(木) 書面開催による意見書回収日
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
委員
味岡 巖 大浦区長
平井 崇広 万灯会 まさき園施設長
豊島 裕香 羽島市主任児童委員
野川 裕史 長谷虎紡績株式会社 総務部長
坂倉 恒充 グランド川村店主
伊藤 典子 P T A 副会長
小寺 奈生子 P T A 副会長
柳原 祐子 P T A 副会長

学校側
田中 久仁子 校長
関谷 博子 事務部長
山口 幸乃 教頭
由井 真紀子 教頭
井川 匡 小学部主事
浅野 普敏 中学部主事
林 剛史 高等部主事
伊藤 真一 教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校の現状と教育活動について

意見1：スクールバスを4台にもどしてはどうか。

⇒現時点では、県の方針がスクールバスの乗車人数を定員の50%としているので、難しい。

意見2：コロナ感染症対策を徹底しながら行事の実施を工夫しているのは評価できる。

意見 3 : 夏期は熱中症対策(マスクの着用について)の検討が必要である。

⇒マスクの着用については、県や厚生労働省から、新しい基準が示されているので、それらを周知し、活動に応じて対応していく。

意見 4 : 明るく大きな声で挨拶してくれるので元気がでる。

意見 5 : コロナ感染症対策等、活動に制約がある中、運動会の見学等、保護者には学年ごとに入れ替わって見学してもらうなど、工夫している。

意見 6 : コロナウイルスの性質や感染状況により、その時々ベストと思われるコロナ感染症対策を行っているようなので、引き続き継続するとよい。

意見 7 : 「本校高等部辞退者が数名(高等特支合格者)」とあるが、辞退の理由によっては、今後の取組の参考とし、より活動の充実に役立てるとよい。

⇒辞退者にその理由を聞く機会はないので、実際のところは分からないが、高等特支と本校のように総合化した学校の違いを学校見学や教育相談においてははっきりと説明し、本校のよさ等を具体的に伝えていく。

意見 8 : 今後、児童生徒数が増えた場合、教員をもう少し増やしてほしい。

⇒児童生徒数により、教員の定数は決まっている。

意見 9 : スクールバスが大型で、乗車時には道路を塞ぎ混雑につながっている。小型のバスにして台数を増やせないか。

⇒年度途中での変更は、運行会社との契約上難しい。停車時間の短縮等できることから改善する。

(2) 高等部作業製品について

ア : 価格について

委員の意見に差異はあったが、委員の過半数以上の承認を得た価格に決定した。

イ : 販売活動について

(コロナ禍の販売活動で、何かよい案はあるか)

意見 1 : 各部の授業参観に合わせて販売してはどうか。

⇒今年度、一部で実施している。作業学習がある日と販売日を合わせるなど工夫する。

意見 2 : 小中学部の買い物学習で利用できないか。

⇒ロータスカフェ(パンの販売)利用は一部で実施している。他の製品に拡大できないか検討する。

意見 3 : 地域住民に対して、カタログ(チラシや回覧板等の利用)や展示での予約販売はできないか。

⇒カタログ販売は保護者向けには実施している。製品数や対面販売優先等の課題はあるが、今後地域住民に対しても実施できないか検討する。

意見 4 : 地域住民や企業に対して、入場制限等をして実施できないか。

⇒コロナ感染症の現状から、現時点では対面での外部の者への販売は実施していない。今後、コロナ感染症への対応等、県と連携していくなかで、外部の方への販売について相談していく。

意見 5：保護者へのパン販売について、火曜・水曜と曜日が限定されているが、他の日にも販売できないか。

⇒作業学習の曜日に販売をしている関係上、曜日が限定される。

(3) 学校運営全般について

意見 1：運動場の一部を駐車場にしてはどうか。

⇒本校の運動場は車が乗り入れられる構造になっていない。

意見 2：地域住民と意見交流できるとよい。

⇒本運営協議会等を利用し、今後とも地域住民の意見を聴く機会を確保していく。

6 会議のまとめ

- ・第 1 回学校運営協議会では、「学校の現状と教育活動について」「学校運営全般について」についてすべての委員より承認が得られた。「高等部作業製品の価格について」は、委員の意見に差異があったが、委員の過半数以上の承認を得た価格に決定した。
- ・今回は、作業製品の販売方法等、地域住民との連携について意見がたくさん出された。本校開校から 7 年が経過し、新型コロナウイルス感染症を含めた本校を取り巻く環境が変化してきている。県立学校として、本校単独の判断では決定できないこともあるが、学校運営の現状を今後もオープンにしつつ、県とも連携しながら多方面の意見をもとに具体的な改善を進めていきたい。